

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果（公表）

討議年月日:令和 5年 11月 28日

公表:令和 5年 12月 21日

事業所名 こどもプラス日岡教室

		チェック項目	はい	どちらともいえない口	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	7				
	2	職員の配置数は適切である	7				受入時のみ、待機職員に対し児童が複数人になる時があります。
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている	5	2			
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	4	3			
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	5	2		事業所の良い点悪い点をチームで改善し利用者様が楽しく過ごせる環境を常に意識しています。	
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	7			各評価表を集計しミーティングを開催することで改善に努めるとともに、結果をステップサポート共に掲載させて頂いています。	
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	4	3			
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	7				
適切な支援の	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	7			普段の会話からも課題やニーズを感じ取り支援計画に取り入れています。	
	10	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	4		3		
	11	活動プログラムの立案をチームで行っている	7				
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	7			1週間に1度運動プログラムの見直しを行うように工夫をしています。	
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	5	2		学校がない日の1日利用では、昼食・おやつのあるため食べ方や食べる時の姿勢、衛生面の指導など平日利用の日とは異なる部分にも気を配るよう心がけている。	
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している	4	3		普段の活動時では適宜個別・集団の活動の組合せを行うように心がけています。	

提供	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	3	4		重要な事は支援中でも行うことを心がけています。	
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	2	4	1	終了後に集まるのが難しい為、翌日の朝礼で振り返る時間を設けていたり、緊急事項があれば職員LINEにて情報共有に努めています。	出来ている時もあれば、送迎に出ている職員の戻り時間が異なる為、なかなか振り返り等が行えておりません。
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	7			連絡帳・業務日報・ヒヤリハットを作成することで検証・改善に努めています。	
	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	4	3		6か月に1度は職員に集まってもらいモニタリングを行っています。	
	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせさせて支援を行っている	7			運動に特化した支援が中心になっているが、運動活動を通してガイドラインの複数の基本活動は支援しています。	
関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	7			良く知った職員に出席してもらい情報共有を行っています。	
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っている	5	2		学校にお迎えに行ったときには、担任の先生などとお話できる機会があればその日や最近の学校での様子などを聞くよう心がけています。	
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている		5	2		
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている	3	2	2	必要に応じて相談支援員さんを通じて情報提供や担当者会議を行わせて頂いています。	
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している	5	2		必要に応じて相談支援員さんを通じて情報提供や担当者会議を行わせて頂いています。	
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	7			子ども部会への参加や相談支援員さんを通じて情報共有を図らせて頂いています。	
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある	2	2	3	今後の課題であり、オンライン等の活用も踏まえ検討しています。	コロナ禍において特に交流が難しかったです。
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加している	5	2		千種区の子ども部会等に参加させて頂いています。	
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	7			送迎時にその日のデイでの様子や、学校の先生から聞いたことなどをお伝えし、コミュニケーションを取るよう心がけています。	
29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている	2	3	2	LINEや電話等で常時対応させて頂いています。保護者様への相談援助も細目に行わせて頂いています。		

保護者への説明責任等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	7			契約時に行わせて頂いています。実費負担が必要な場合は、LINEやお便りで事前連絡をさせて頂いています。	
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	4	2	1	送迎時や電話等、いつでも相談できるようにしている。必要に応じて面談を行わせて頂いています。	
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	3	2	2		今年度は保護者会を行っていません。
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	5	2		相談があった日のうちに対応できるよう、スタッフの体制を整えさせて頂いています。	
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	7			毎月運動プログラムの冊子を発行させて頂いています。	
	35	個人情報に十分注意している	7			写真や名前の取り扱いにはとくに留意し、対応させて頂いています。	
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	4	2	1	視覚的支援を行うことを心がけ、会話だけでなくメモやLINEでの対応させて頂いています。	
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	2	3	2		
非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	5	2		職員間は定期的に会議等で共有させて頂いています。	各マニュアルはあるが、保護者への周知までは出来ていない。
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	4	1	2	月に1度避難訓練を行わせて頂いています。	
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	7			社内研修等で虐待に関して確認を行わせて頂いています。	
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し理解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している	7			職員間で話し合い身体拘束を行う可能性のある利用者様においては、保護者様への確認・報告を行い、同意書を交わさせて頂いています。	
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	5	1	1	提供時に複数のスタッフで確認させて頂いています。	
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	7			スタッフが共有できるようにファイリングし、朝礼や社内研修時にも報告を行わせて頂いています。	